

新病院長着任

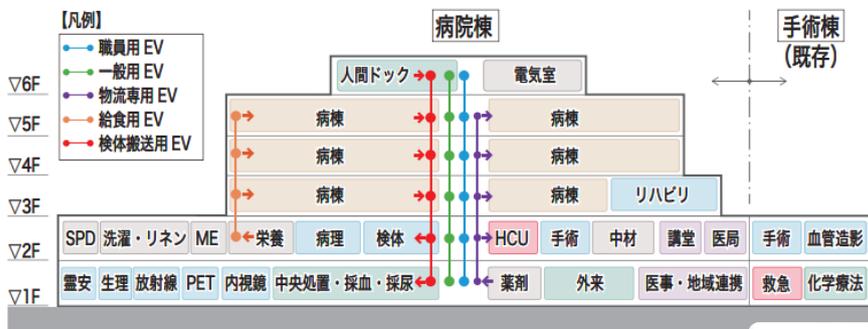


令和3年4月1日付で着任いたしました河野嘉文です。この19年間は鹿児島大学病院小児科の責任者を務め、鹿児島県内の関連医療機関と連携し、大学病院での高度医療を発展させる努力に加え、県内の小児医療体制の整備を担当しておりました。その過程で、この地区の医療について、霧島市長、霧島市立医師会医療センター病院長から定期的に情報をいただいております。今回、病院長を拝命することになり霧島地区の基幹病院である医療センターの運営を担当させていただくことになり、身が引き締まる思いです。鹿児島大学を退職してからの勤務になりますが、精一杯努力する所存ですので、どうかよろしくお願い申し上げます。

社会は未曾有のコロナ禍で混乱しておりますが、全国の医療従事者は医療人としての使命を胸に頑張っております。コロナ禍は早晚克服できます。霧島市の明るい未来を信じて医療センターの職員とともに力を合わせて、市民の皆様へ愛され信頼される病院にすることを目指します。

2021年3月に鹿児島大学医学部長、小児科教授を退職された河野嘉文先生が4月1日付で当院の新しい病院長に就任されました。

新病院基本設計終了



新病院は6階建てです。

- 1階は外来、救急、放射線検査、内視鏡検査、薬剤部、化療センター
 - 2階は手術、血管造影、集中治療室、中央材料、医局、栄養、事務管理
 - 3階～5階は入院病棟(全室個室)
 - 6階はドック室(男女別待合)
- ※当地区初のPET-CTを導入します

コロナ感染症の影響もあり設計業務が遅れました。現時点では実施設計を2022年夏に終え、その後工事期間2年を要し、2025年1月頃新病院開院予定です。詳細は霧島市ホームページで。

整備スケジュール

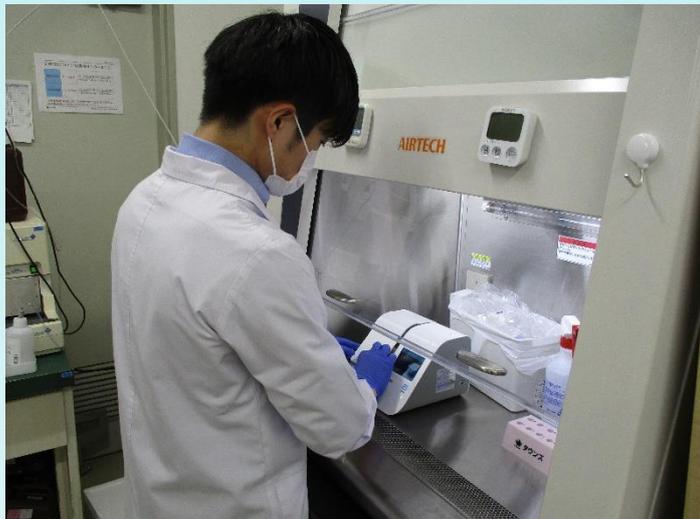
	2020	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
基本設計		EI 発注	実施設計					
					開院準備			
					新病院棟新築工事	★新病院開院		
						既存改修・解体・外構工事		★グランドオープン

新入職44名を迎えました

- 常勤医師4名：内科/消化器内科2名、循環器内科1名、糖尿病内科1名増員し、さらに診療を充実させます(常勤医41)
- 臨床研修医4名：当院で医師の第一歩を学ぶ研修医は計7名に
- 看護師22名：新病院開設に向け計画的に増員中です(常勤200)
- 看護助手2名：看護師の右腕として病院には欠かせない存在(常勤28)
- 薬剤師1名：各病棟に配置し薬剤師の役割を充実させます(常勤14)
- 公認心理師1名：患者様の心のケアをさらに充実してゆきます(常勤4)
- 管理栄養士1名：栄養指導をさらに強化します(常勤4)
- 検査技師2名(常勤7) ○事務5名(常勤43) 他

地域の急性期医療とコロナ対策に全力投球！

- 感染管理医師(ICD)と感染管理認定看護師(ICN)を中心とするコロナチームで当地域での感染拡大防止に努めています
- 一度に80名分のPCR検査ができる機器も導入しています



市民や企業の皆様の暖かいご支援有難うございます。

3密(密室, 密集, 密接)の回避, マスクの装着, 手洗い励行, ソーシャルディスタンスの確保など引き続きよろしくお願いします

コロナワクチンは最寄りの医療機関で

当院ではコロナのワクチンは接種できません。市町村からの指示に従って最寄りの接種機関で受けてください

看護部紹介

常勤200名, 非常勤42名
看護助手: 常勤28名, 非常勤13名

当院には, ある特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を有する者として, 看護協会が認定した, **11分野15名の認定看護師**がおります。また特定行為として決められている38種類の行為について, 医師の具体的な指示が出る前に自らで行える**特定行為看護師が3名**おります。今後もさらに増やし質の高い看護を推進します。

職員募集

医師, 看護師, 看護助手, 薬剤師, 医療クラーク等を募集しております。詳細については病院ホームページ職員募集欄をご覧ください。総務課人事担当坂元にご相談ください。

kmc-boshu@hayato-mc.jp

☎ 0995-42-1171

FAX0995-42-2158

殆どの領域に常勤専門医

内科系

神経内科

呼吸器内科

循環器内科4

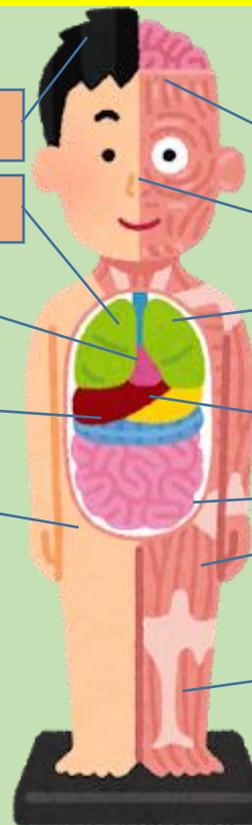
消化器内科10

糖尿病内科2

総合診療科2

小児科5

放射線科1



外科系

脳外科2

耳鼻科

呼吸器外科2

消化器外科6

泌尿器科

整形外科3

血管外科

小児外科1

麻酔科1

基幹型研修医1年次4名, 2年次3名

■ : 常勤

■ : 非常勤

外来担当医一覧 2021/4/1

当院は病気になって刻々と容態が変化する急性疾患または重症患者の主として入院治療を24時間体制で行なう急性期病院です。医師や看護師の外来負担を軽減する為、救急医療以外、一般外来は完全紹介制とさせて頂いています。病気になった時、まずは“かかりつけ医”か最寄りの開業医師に診てもらってください。予約無しを受診でも診療は致しますが別に自己負担が発生します。

診察日	月曜日～金曜日, 受付: 午前8時30分～午前11時(緊急はこの限りに非ず)				
診療科	月	火	水	木	金
総合内科(紹介)	山田 祐輔	帖佐 俊行	田嶋 修三	宮里 千尋	有木園 哲仁
総合内科(初診)	松元 琢真	竹中 遥香	安藤 優之介	竹中 遥香	山里 侑
○肝臓内科	田嶋 修三	長谷川 将	藤崎 邦夫	山崎 成博	長谷川 将
	藤崎 邦夫	藤崎 邦夫	吳 建	藤崎 邦夫	—
○消化器内科	—	山崎 成博	—	—	—
	三阪 高春	三阪 高春	三阪 高春	三阪 高春	徳留 健太郎
○循環器内科	水上 京子	杉田 浩	重田 浩一郎	水上 京子 杉田 浩	肱黒 薫
	寺師 利彦	寺師 利彦	循環器非常勤	肱黒 公博	寺師 利彦
○呼吸器内科	河野 智紀	肱黒 公博	—	河野 智紀	河野 智紀
○神経内科	徳永 大道	—	徳永 大道	高木 弘一	—
○糖尿病内科	—	—	伊集院 太生	—	伊集院 太生
○血液内科	鎌田 勇平	—	—	—	大納 伸人
○緩和ケア外来	—	—	—	馬見塚 勝郎	—
救急車内科系	伊集院 太生	田嶋 修三	帖佐 俊行	有木園 哲仁	宮里 千尋
救急車外科系	整形当番医	外科当番医	外科当番医	原浦 博行	脳外当番医
○消化器外科	門野 潤	急患のみ対応	二渡 久智	門野 潤	急患のみ対応
	崎田 浩徳		崎田 浩徳	濱田 琴巳	
	—		林 知実	井上 真岐	
○呼吸器外科	柳 正和	—	柳 正和	—	柳 正和
○脳神経外科	森 正如	寺田 耕作	—	寺田 耕作	森 正如
○整形外科	益田 義幸	益田 義幸	—	益田 義幸	—
	井内 智洋	井内 智洋	—	井内 智洋	—
○血管外科	—	—	井本 浩 (1,3水・終日)	—	川井田 啓介 今釜 逸美
○泌尿器科	—	栢木 太郎	—	—	—
○耳鼻科	—	—	—	松崎 勉 西元 謙吾	—
○乳腺外来	—	—	相良 安昭	—	—
○小児外科	連 利博	—	連 利博	連 利博	—
○小児一般	原浦 博行	原浦 博行	原浦 博行	井上 博貴	井上 博貴
	井上 博貴	井上 博貴	井上 博貴	—	—
○小児アレルギー	吉川 英樹	吉川 英樹	吉川 英樹	—	吉川 英樹
○小児循環器	江口 太助	江口 太助	江口 太助	江口 太助	江口 太助
○放射線科	新村 耕平	新村 耕平	新村 耕平	新村 耕平	新村 耕平

認定・特定看護師のご紹介

このコーナーでは2頁目にご紹介しました11分野15名の認定看護師と3名の特定医療行為認定看護師についてご紹介いたします。今回はコロナ感染症対策で頑張っている感染管理認定看護師2名を紹介いたします。

感染管理認定看護師 Infection Control Nurse(ICN)



藤田綾子(ICN)



淵脇申護(ICN)

感染管理認定看護師は超急性期から在宅まで、また患者、家族、そして医療者と、医療に関わるすべての人を感染源から守ることを使命としています。その任務は、①医療関連感染サーベイランス(院内で起こった感染症の発生状況を調査、集計し院内感染予防に役立てるシステム)の実践と、②各施設の状況の評価と感染予防・管理システムの構築です。感染対策を行うために専門知識をもった医師(ICD 3名)、看護師(ICN 2名)、検査技師、薬剤師(ICP 1名)からなる当院の組織横断的なチーム：感染制御チーム (ICT: Infection Control Team) の主要メンバーです。PCR検査については委託会社「パソラボ」(院内常駐)の全面的な協力により1日160検体まで可能となっています。

ICNは今回のコロナ感染症では複数の医療機関、介護施設、学校などを訪問し感染対策の検証を行いました。普段は院内の感染予防及び拡大防止対策(感染症外来の運営、PCR検査体制の構築、手指消毒・ガウンテクニックの徹底、多剤耐性菌の把握と拡散防止策、最新の感染管理情報の提供)などを行っています。また、他ICTメンバーとともに感染症ラウンドを行い、部署ごとの病院環境ラウンドや指導を行い、場合によっては院長に施設整備改善を提言します。その他、ICDの指示のもとに重症感染症患者の適正な薬物投与についても担当医に提言します。

感染対策に免疫力を高めましょう

免疫力を高める食事

細菌やウイルスなどの病原菌を撃退する免疫システムを担っているのは免疫細胞で、腸にはこの免疫細胞の約70%が集まっています。つまり腸は、免疫の主役を成す臓器で、この腸内細菌叢をいかにバランスよく保つかは免疫力を高めるカギになります。この腸内の善玉菌の割合を増やす方法として①生きた善玉菌である「プロバイオティクス」を直接摂取する方法：ヨーグルト・乳酸菌飲料・納豆・漬物など、プレバイオティクスや乳酸菌を含む食品。これらの菌は腸内にある程度の期間は存在しても、住み着くことはなく、毎日続けて摂取し、腸に補充することが勧められます。②腸内にもともと存在する善玉菌を増やす作用のある「プレバイオティクス」を摂取する方法：食品成分としてはオリゴ糖や食物繊維で、これらの成分は野菜類・果物類・豆類などに多く含まれています。オリゴ糖は、大豆・たまねぎ・ごぼう・ねぎ・にんにく・アスパラガス・バナナなどの食品にも多く含まれています。食物繊維、βグルカン、ビタミン、ミネラルを豊富に含む「きのこ類」は代表的なプレバイオティクスです。



バナナ+ヨーグルト

プロ+プレバイオティクスの組み合わせ



よく噛んで唾液量アップ↑

押大豆、ごぼう、味噌汁の具材としておすすめ、玉ねぎ、キノコ類

免疫力を高める運動

免疫力はストレス、睡眠不足、低体温、過食などで低下します。これらを回避し、適度に体を動かす運動も食事と同様に免疫力を高めるのに重要な働きをします。適度な運動とは会話ができる程度の強度の運動を、1回20～60分行う程度とされています。
ウォーキング：軽く汗をかく程度の運動量を意識して、1日8,000歩ほど歩くのが理想です。
昇降運動：雨や風の強い日など室外での運動が難しい場合は、室内で階段や踏み台を1段登り降りする運動もウォーキングと同等の効果があります。背筋を伸ばし右足からと左足からと交互に行います。
スクワット(下半身の筋トレ)：両足を肩幅程度に開いて立ち、4秒くらいかけてゆっくりと腰を落としていきます。膝が90度の角度まで曲がったら、再び4秒くらいかけてゆっくりと元の姿勢に戻します。10～20回を何セットか繰り返します。
上半身のストレッチやヨガ：ストレッチやヨガにはリラックス効果があり、副交感神経を優位に導くことができます。副交感神経優位となると血管が拡張し全身の血液循環が改善し免疫細胞も循環しやすくなり免疫力も高まります。

軽い運動で免疫カアップ↑



アブリヤ 万歩計活用、ウォーキング、背筋を伸ばして、少し早めのテンポで

筋トレで基礎代謝アップ↑



スクワット、足は肩幅ぐらい開きます、お尻をしっかりと突き出して

5月連休中の診療

・連休中は外来診療も外来化学療法もお休みします
・平日夜間や休日の急患は2次輪番病院優先ですが、当院が2次輪番日でなくても当院通院中か、または特別な事情があれば当院でも対応致します

診療	4.28	4.29	4.30	5.01	5.02	5.03	5.04	5.05	5.06	5.07	5.08	5.09
外来	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×
化療	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×
急患	日中	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	×
	夜間	◎ (2次輪番)	×	◎ (2次輪番)	×	◎ (2次輪番)	×	◎ (2次輪番)	×	×	◎ (2次輪番)	×